区分17	専門基礎分野 医学検査の基礎とその疾病との関連	授業科目名	微生物学	単位数	1単位 （30時間）
開講時期	1年　前期	担当教員	横溝　勝	担当教員の実務経験	（有）・無

◆実務経験の内容

国立長崎中央病院で1年半年、国立嬉野病院で9年間、国立小倉病院2年間、臨床微生物検査に従事、学生･新人指導、看護学校授業など行ってきました。その経験をもとに講義・実習を行います。

◆授業の目的・目標

微生物学の総論として、微生物の基本的な性質と感染・防御に関する基礎概念を理解することを目標とします。
微生物の分類、構造、増殖および代謝に関する基本概念、感染症の関係、感染の成立と進展、宿主の防御機構の概要、滅菌・消毒、感染予防、常在菌と日和見感染など、臨床現場で重要となる微生物学的概念を学びます。

◆授業の概要・授業方針

細菌を中心に、微生物の構造と分類、増殖と代謝、遺伝と変異、微生物と感染症、宿主の防御機構、滅菌・消毒と感染予防、常在菌叢と環境との関わりなど、臨床微生物学の基礎となる内容を体系的に学びます。これらを通じて、1年次後期以降の各論や微生物検査学実習を理解するための土台となる知識を身につけることを目的とします。

◆テキスト・参考資料等

最新臨床検査学講座 微生物学/臨床微生物学（医歯薬出版）
臨床微生物検査ハンドブック/三輪書店

◆成績評価の方法

定期試験・出席点・実習態度

授業計画		チェック欄
第1回	微生物検査とは（微生物検査の歴史・分類）	
第2回	細菌の形態と構造	
第3回	細菌の観察法と染色法	
第4回	細菌の代謝と発育	
第5回	細菌の発育と培養	
第6回	細菌の培養法	
第7回	細菌の同定	
第8回	遺伝・変異と遺伝子診断	
第9回	滅菌および消毒	
第10回	化学療法	
第11回	ワクチン	
第12回	正常細菌叢とその変動	
第13回	病原性と抵抗力	
第14回	バイオセーフティ・医療関連感染	
第15回	細菌検査の精度管理・感染症関連法規	